システム設定マニュアル
製品共通
Microsoft 365予定表編

目次

はじめに 3
連携機能を使用するためには 12
トラブルシューティング 41

はじめに

スケジュール連携機能は、Sales Force Assistantシリーズのスケジュールを、Microsoft 365 (Exchange Online)予定表(※以下Microsoft 365予定表)に連携して自動登録することができます。また、Microsoft 365予定表から登録したスケジュール情報をNI Collabo 360・Sales Force Assistantシリーズのスケジュールとして取り込みができます。

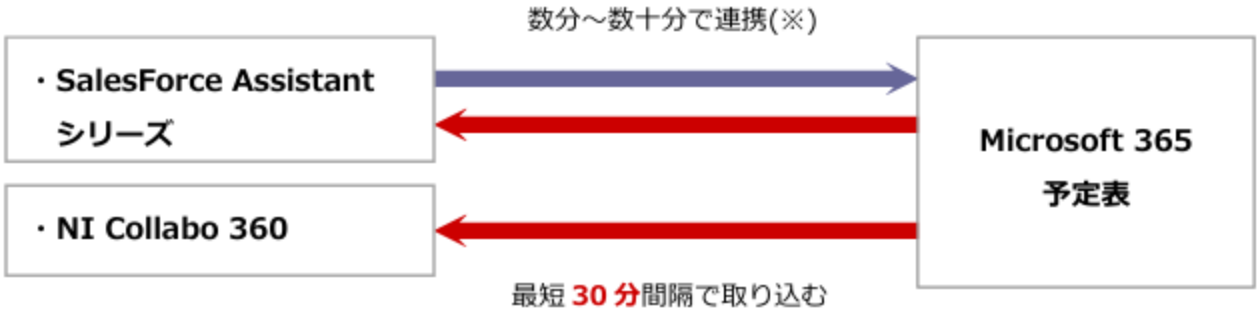
▶ 連携対象製品

Microsoft 365予定表と連携が可能な対象の製品は以下の通りです。

- **NI Collabo 360 (Microsoft 365予定表→NI Collabo 360のみ)**
- **Sales Force Assistantシリーズ**

▶ 連携のタイミング

スケジュールが連携されるタイミングは以下の通りです。リアルタイムには連携しませんのでご注意ください。



※データ通信量、連携先カレンダーの負荷状況により変動します。

補足

- 他システムのカレンダーからの取り込み間隔は、システム設定より30～240分内で選択ができます。
  ⇒詳細は「システム設定：スケジュール連携」を参照してください。
- 複数の連携先システムに対してスケジュール連携を行うことはできません。連携先を1つ選択する必要があります。
- 他連携サービスとの連携は、各連携サービス向けのマニュアルを参照してください。

▶ NI Collabo 360 との連携

Microsoft 365予定表とNI Collabo 360を連携することができます。
Microsoft 365予定表のスケジュールをNI Collabo 360で照会ができます。

[NI Collabo 360:スケジュール画面]



NI Collabo 360 へ

[Microsoft 365 予定表画面]



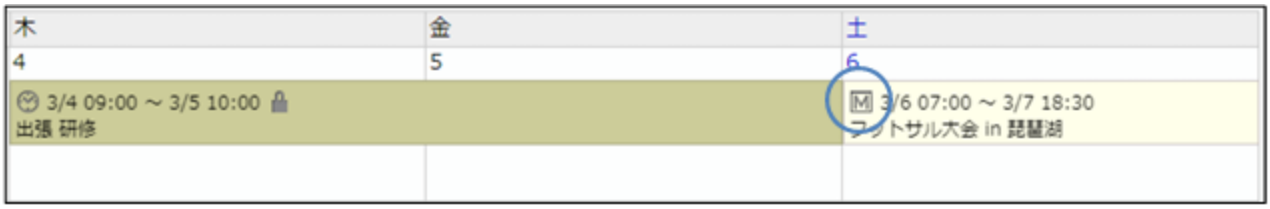
連携の特徴

連携の特徴は以下の通りです。

［Microsoft 365予定表　⇒　NI Collabo 360］

カレンダーの表示

NI Collabo 360に取り込まれたスケジュールは「M」アイコンが表示されます。



カレンダーの編集

NI Collabo 360に取り込まれたスケジュールは、編集不可となります。



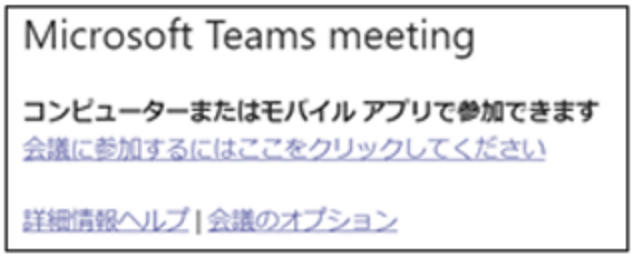
スケジュール（予定一覧）画面から一括削除できます。



リンクのURL表示

NI Collabo 360に取り込まれたスケジュールは、テキスト形式でリンクのURLが表示されます。

例)
[Microsoft 365予定表]



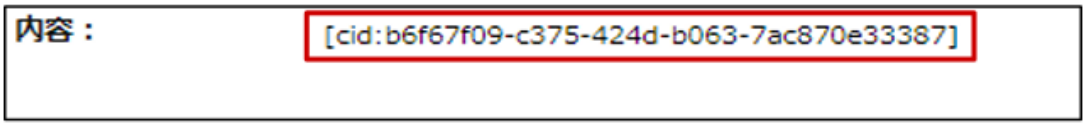
[NI Collabo 360]



タイムゾーン
取り込まれたスケジュールの「タイムゾーン」は、NI Collabo 360のシステム設定＞基本設定＞社員／社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。 スケジュール連携後にタイムゾーンを手動で変更された場合、NI Collabo 360とMicrosoft 365予定表で表示される時刻が一致しない可能性があります。

注意事項について

Microsoft 365予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

項目	説明
スケジュールの重複チェックについて	NI Collabo 360の重複したスケジュールをチェックの場合においても、Microsoft365側から登録したスケジュールは「重複チェック」をせずNI Collabo 360に取り込まれます。
添付ファイルについて	Microsoft 365予定表で「画像を本文に挿入」ボタンから画像が挿入されたスケジュールをNI Collabo 360に取り込んだ場合、APIの仕様により『Microsoft 365側の添付ファイルID』が画像の位置に表示されます。 画像自体の連携は不可のため、上記IDのみが連携されます。 IDを表示させたくない場合、Microsoft 365予定表で「画像を本文に挿入」ではなく「添付」ボタンから画像を添付してください。 

▶ Sales Force Assistantシリーズとの連携

Microsoft 365予定表とSales Force Assistantシリーズを連携することができます。
Sales Force Assistantシリーズのスケジュールに登録すると、Microsoft 365予定表に自動連携されます。

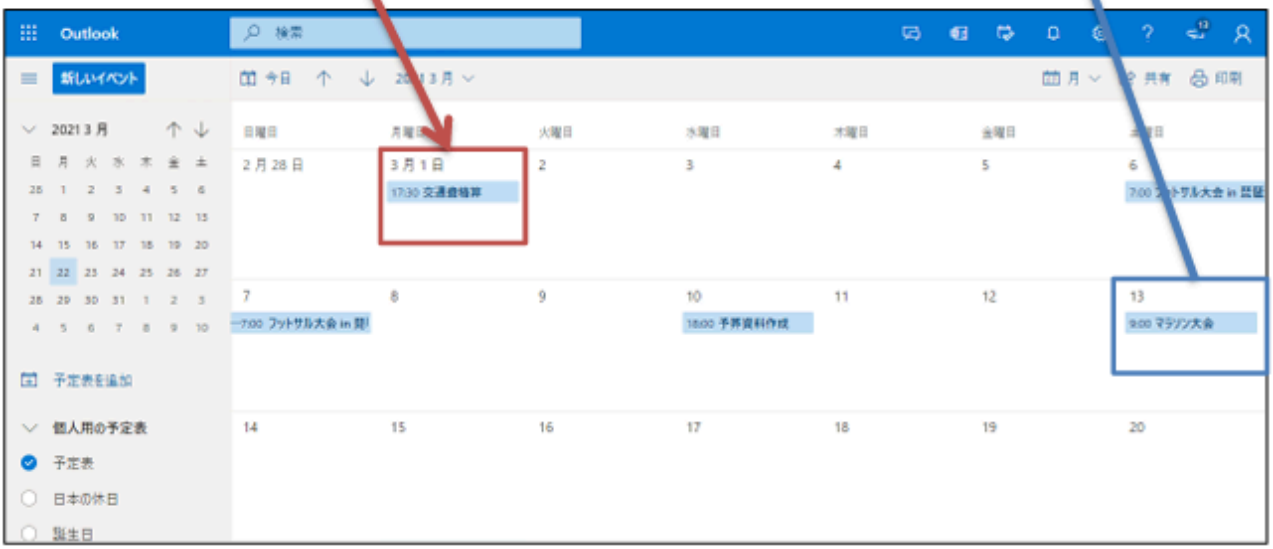
[Sales Force Assistant シリーズ:スケジュール画面]



Microsoft 365 予定表へ

Sales Force Assistant シリーズへ

[Microsoft 365 予定表画面]



連携の特徴

連携の特徴は以下の通りです。

［Sales Force Assistantシリーズ　⇒　Microsoft 365予定表］

「場所」項目について
Microsoft 365予定表の「場所」項目は、商談予定の顧客プロフィールに登録された「住所」を自動的にセットします。 
商談情報・業務情報の更新
Microsoft 365予定表側から更新された商談情報・業務情報の内容は、Sales Force Assistantシリーズ側には反映しません。 ※Sales Force Assistantシリーズ側で更新された内容は、Microsoft 365予定表側へ更新します。
対象となる商談情報・業務情報
対象となる情報は、**予定**情報のみです。（※実績情報は対象外） なお、予定から実績となった場合も対象外となる為、Microsoft 365予定表は予定のまま残ります。
タイムゾーン
Microsoft 365予定表のスケジュール個別の「タイムゾーン」は、Sales Force Assistantのシステム設定＞基本設定＞社員／社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。 スケジュール連携後にタイムゾーンを手動で変更された場合、Sales Force AssistantシリーズとMicrosoft 365予定表で表示される時刻が一致しない可能性があります。

［Microsoft 365予定表　⇒　Sales Force Assistantシリーズ］

カレンダーの表示
Sales Force Assistant シリーズに取り込まれたスケジュールは、「M」アイコンが表示されます。 
取り込まれたスケジュール
取り込まれたスケジュールは、常に非公開となります。（※本人のみ閲覧が可能。） ※但し、NI Collabo 360製品を導入しており、利用権限が付与されている場合は、公開・非公開をシステム設定画面上で設定可能です。
タイムゾーン
取り込まれたスケジュールの「タイムゾーン」は、Sales Force Assistantのシステム設定＞基本設定＞社員／社員一覧で設定されているタイムゾーンに対応するものが設定されます。

注意事項について

Microsoft 365予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

項目	説明
NI Collabo 360と Sales Force Assistantシリーズの両方の利用権限がある場合	Microsoft 365予定表で登録されたスケジュールは、NI Collabo 360スケジュールとして取り込まれるため、Sales Force Assistantシリーズ上では表示しません。 ＤＭＶ上で表示したい場合、以下の設定を行ってください。 ⇒NI Collabo 360「オプション設定」より、スケジュール＞連携設定＞ SalesForce Assistantシリーズ＞表示設定を“表示する”に設定します。

▶ iOS端末（iPhone、iPad）の標準カレンダーアプリ情報との連携

iOS端末（iPhone、iPad）の標準カレンダーアプリ情報をMicrosoft 365予定表を経由し弊社製品に取り込むことができます。

補足

- 動作確認はiOS端末の標準カレンダーでのみ行っております。
  標準カレンダー以外のiOS端末向けアプリとの連携については動作未確認となります。

カレンダー同期

Microsoft 365予定表とiOS端末の標準カレンダーを同期するには、Outlook.comを使って同期してください。

- Outlook.comを利用する方法
  アカウントを追加の画面でOutlook.comを選択し、メール・連絡先・カレンダー・メモ等を同期する設定の内、カレンダーを連携する機能を利用する。
  詳しくはMicrosoft社のサポートを参照ください。

補足

- iOSやMicrosoft 365側の仕様変更により同期できないケースが発生する可能性があります。

連携機能を使用するためには

スケジュール連携を使用するためには、事前に以下の項目を決定してください。

1. Sales Force Assistantシリーズ**のスケジュールをMicrosoft 365予定表へ連携するか・・・【A】**

⇒詳細については、「システム設定：スケジュール連携」を参照してください。
※NI Collabo 360のスケジュールをMicrosoft 365予定表に連携することはできません。

2. **Microsoft 365予定表を**NI Collabo 360・Sales Force Assistantシリーズ**へ連携するか・・・【B】**
    - 連携する場合
      NI Collabo 360**に取り込まれたスケジュールは**
      「公開する/公開しない/個人ごとに決定させる」・・・【C】

3. **スケジュール連携について、個人ごとの変更を許可するか・・・【D】**
   「許可する/許可しない」

設定パターン	API設定	スケジュール連携
連携するか個人で設定	システム管理者（共通設定）	個人
システム管理者が一元管理	システム管理者（共通設定）	システム管理者（まとめて設定）

※許可しない場合、スケジュール連携設定はシステム管理者がまとめて設定/変更する必要があります。
※**A～Cは、システム設定「スケジュール連携」で設定を行います。**

⇒「システム設定：スケジュール連携」を参照し、こちらより設定を始めてください。

▶ 設定の種類

連携機能を使用するためには、下記の設定が必要です。
②の設定によって、設定しなければならない箇所が異なりますのでご注意ください。
詳細は、前述を参照してください。

①API設定

Microsoft Entra IDで、APIの利用設定を行います。
⇒詳細は、「Graph REST APIの有効化と認証情報の取得」を参照してください。

②システム設定「スケジュール連携」

スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。
⇒詳細は、「システム設定：スケジュール連携」を参照してください。

③システム設定「社員」

システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。
⇒詳細は、「システム設定：社員」を参照してください。

④オプション設定「スケジュール連携設定」

各社員がスケジュール連携設定を行います。
※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合
⇒詳細は、「オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。

⚠ 注意

- **スケジュール連携における注意事項について**
  設定の際は、「スケジュール連携における注意事項」を参照しながら設定を行ってください。

▶ Microsoft 365の設定パターン

API：共通設定、スケジュール連携：個人設定 手順

運用イメージ

API利用設定はシステム担当者が行い、Microsoft 365予定表とNI製品スケジュールとの連携は、個人（社員）で設定するイメージです。

APIを**共通で設定**し、スケジュール連携は**個人で設定**するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step1.APIの有効化を行う【共通】

Microsoft Entra IDで、共通で使用するAPIの利用設定を行います。
⇒詳細は、「Graph REST APIの有効化と認証情報の取得」を参照してください。

Step2.システム設定「スケジュール連携」

システム管理者がスケジュール連携設定を行います。
システム設定-スケジュール連携-スケジュール連携設定の「共通認証情報」設定を行います。
⇒詳細は、「システム設定：スケジュール連携」を参照してください。

Step3.オプション設定「スケジュール連携設定」

各社員がスケジュール連携を設定します。
※社員ごとにスケジュール連携の設定変更を許可されている場合
⇒詳細は、「オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。

API：共通設定、スケジュール連携：まとめて設定 手順

運用イメージ

API利用設定、Microsoft 365予定表とNI製品スケジュールとの連携まで全てシステム管理者が設定するイメージです。

APIを**共通で設定**し、スケジュール連携を**まとめて設定**するためには、以下の設定ステップで実施してください。

Step1.APIの有効化を行う【共通】

Microsoft Entra IDで、共通で使用するAPIの利用設定を行います。
⇒詳細は、「Graph REST APIの有効化と認証情報の取得」を参照してください。

Step2.システム設定「スケジュール連携」

システム管理者がスケジュール連携設定を行います。
システム設定＞スケジュール連携＞スケジュール連携設定の「共通認証情報」設定を行います。
⇒詳細は、「システム設定：スケジュール連携」を参照してください。

Step3.システム設定：社員「スケジュール連携」

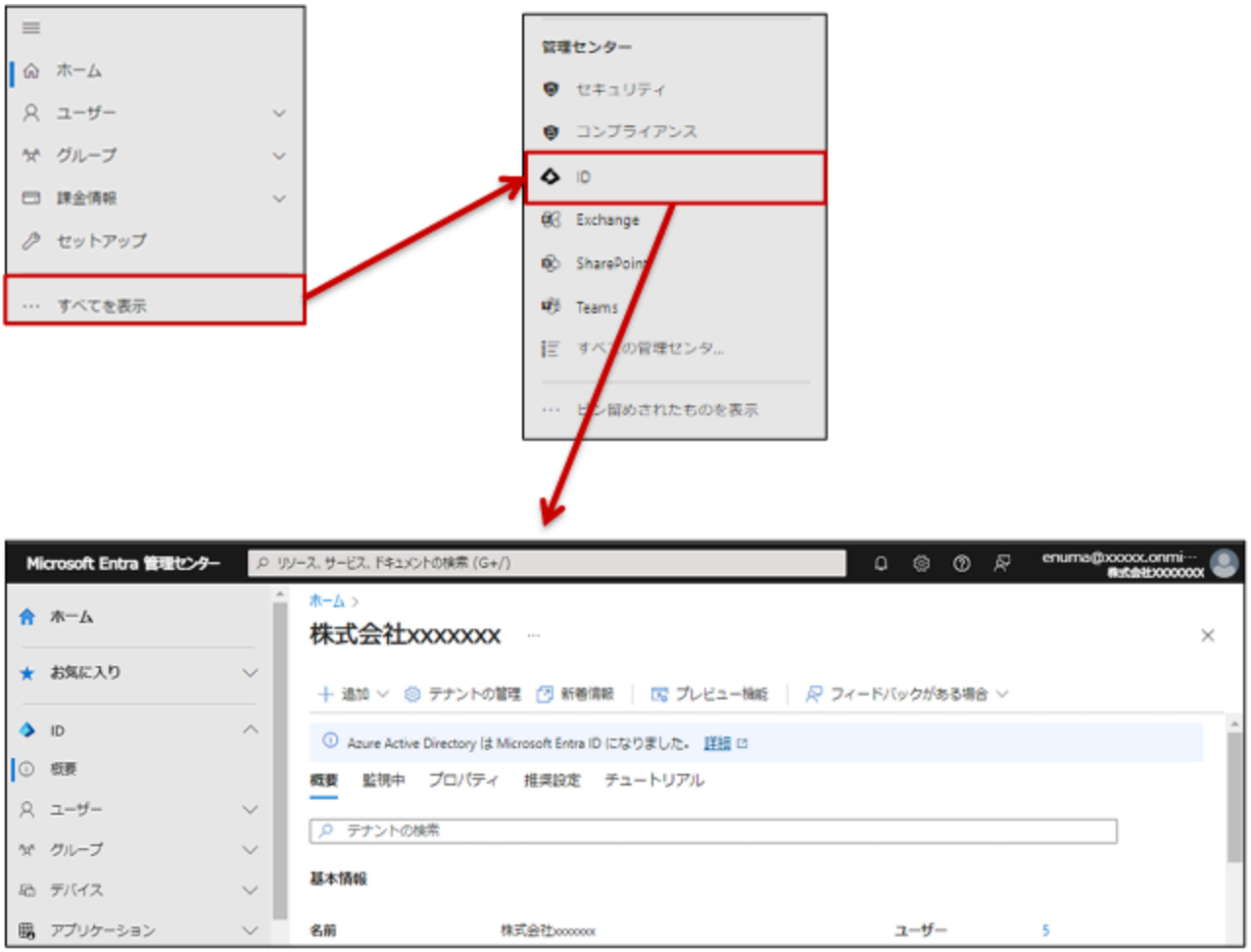
システム管理者が全社員のスケジュール連携の連携有無・連携設定を行います。
⇒詳細は、「システム設定：社員」を参照してください。

▶ Graph REST APIの有効化と認証情報の取得

Microsoft Entra IDで、Graph REST APIの利用設定を行います。

Microsoft Entra IDへのサインイン

1. 下記のアドレスからMicrosoft 365管理センターに管理者ユーザーでサインインします。
   Microsoft 365管理センター『https://admin.microsoft.com/Adminportal/』
   ⇒Microsoft 365管理センターのホーム画面が表示されます。
2. 画面左メニュー「すべてを表示」＞「ID」をクリックします。
   ⇒Microsoft Entra管理センターのMicrosoft Entraテナント概要画面が表示されます。

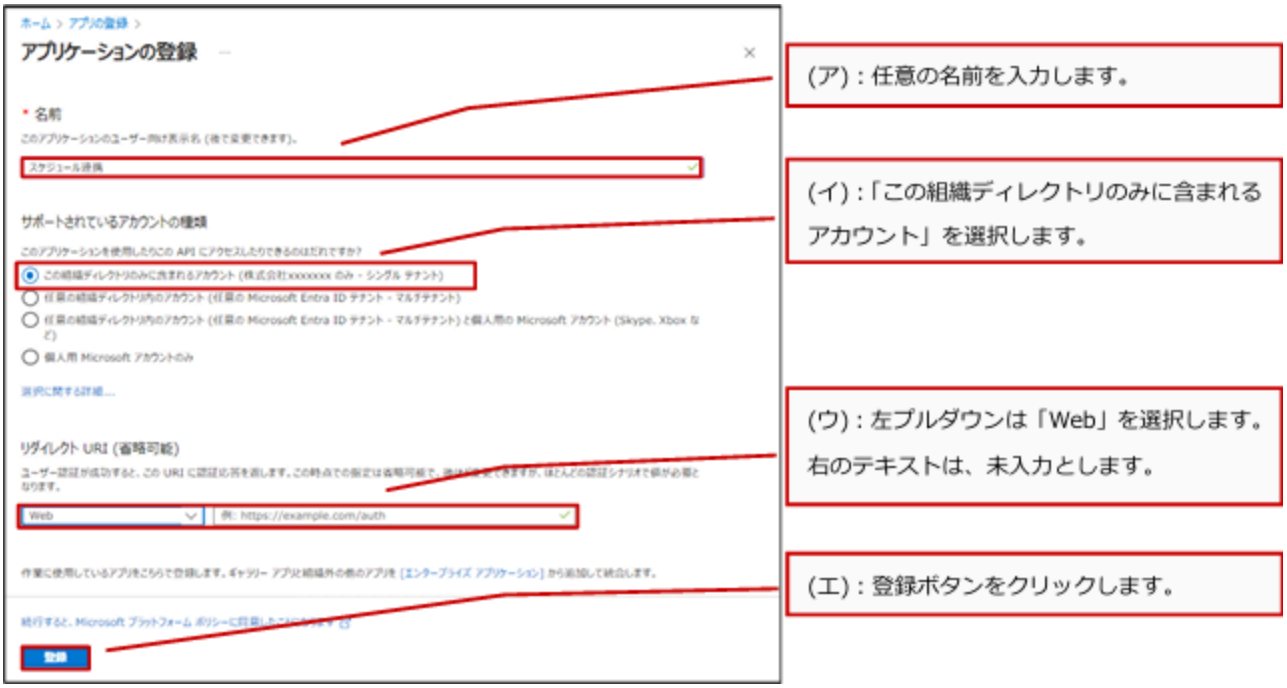


Microsoft Entraアプリケーションの登録

1. 画面左メニュー「アプリケーション」＞「アプリの登録」＞「新規登録」をクリックします。
   ⇒アプリケーションの登録画面が表示されます。



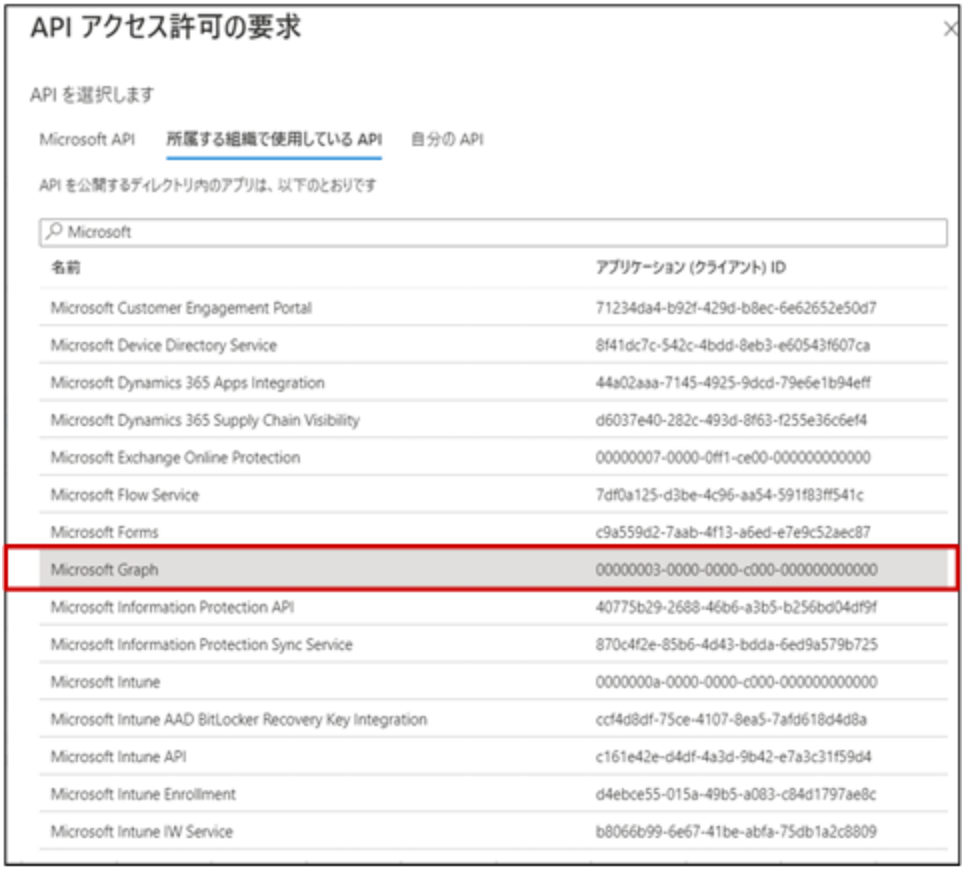
2. 以下の入力を行い、アプリケーションの登録を行います。



3. APIへのアクセス許可の設定を行います。
   (ア) 作成したアプリケーションの「APIのアクセス許可」＞「アクセス許可の追加」をクリックします。



(イ) 画面上のタグから「所属する組織で使用しているAPI」＞「Microsoft Graph」をクリックします。



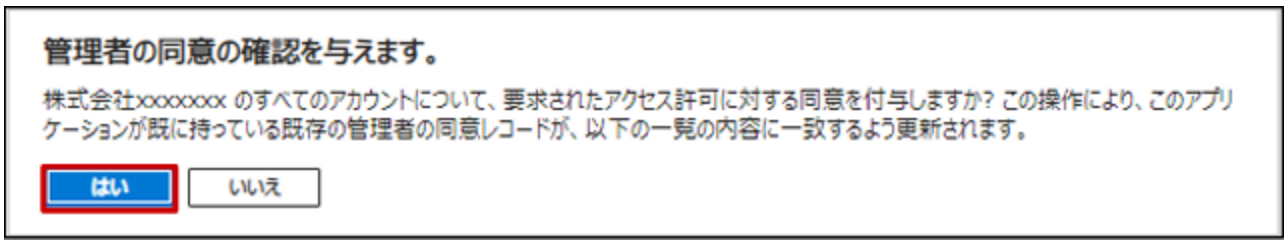
(ウ) 「アプリケーションの許可」＞「Calendars.ReadWrite」＞「アクセス許可の追加」をクリックします。



(エ) 「APIのアクセス許可」画面にて「管理者の同意を与えます」をクリックします。



(オ) 確認のダイアログが出た場合、「はい」をクリックします。



(カ) アクセス許可の付与が成功すると画面上に以下のメッセージが表示されます。



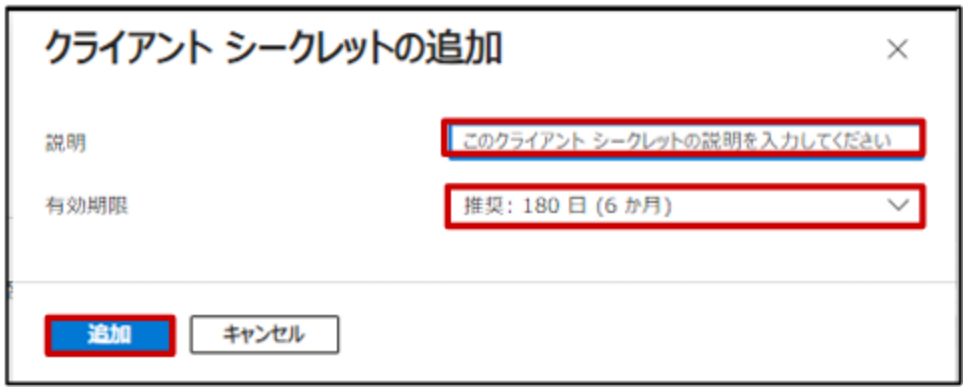
クライアントシークレットの作成

登録したアプリケーションに「スケジュール連携を設定する」に必要なクライアントシークレットを作成します。

1. 作成したアプリケーションの「証明書とシークレット」＞「新しいクライアントシークレット」をクリックします。



2. 任意の説明を入力し、有効期限の選択を行い、「追加」をクリックします。



3. 表示される「値」をコピーします。



⚠ 注意

- クライアントシークレットの「値」は作成直後しか確認できず、画面を移動・閉じてしまうと「値」は非表示となります。
- コピーに失敗した場合、同様の手順で再度新しいクライアントシークレットを作成してください。

認証情報の取得

登録したアプリケーションから「システム設定：スケジュール連携」に必要な情報を取得します。

1. クライアントIDを取得します。
   作成したアプリケーションの「概要」をクリックします。画面右に表示されるアプリケーション(クライアントID)の項目を確認してください。（「スケジュール連携を設定する」で使用します。）
2. OAuth 2.0トークン エンドポイントを取得します。
   作成したアプリケーションの「概要」＞「エンドポイント」をクリックします。「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v1)」を確認してください。（「スケジュール連携を設定する」で使用します。）

   ※「OAuth 2.0 トークンエンドポイント(v2)」は使用しません。




エンドポイント
OAuth 2.0 承認エンドポイント (v2)
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/oauth2/v2.0/authorize
OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v2)
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/oauth2/v2.0/token
OAuth 2.0 承認エンドポイント (v1)
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/oauth2/authorize
OAuth 2.0 トークン エンドポイント (v1)
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/oauth2/token
OpenID Connect メタデータ ドキュメント
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/v2.0/.well-known/openid-configuration
Microsoft Graph API エンドポイント
https://graph.microsoft.com
フェデレーション メタデータ ドキュメント
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/federationmetadata/2007-06/federationmetadata.xml
WS-Federation サインオン エンドポイント
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/wsfed
SAML-P サインオン エンドポイント
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/saml2
SAML-P サインアウト エンドポイント
https://login.microsoftonline.com/c0ed0016-a009-4e13-8a02-08a791a9b07a/saml2

▶ システム設定：スケジュール連携設定

スケジュール連携の全社的な利用について設定を行います。

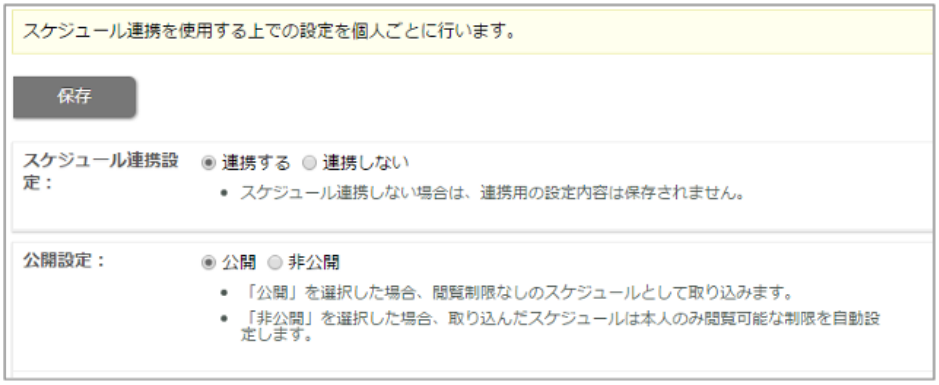
> ⚠ 注意
>
> - **スケジュール連携に必要な条件について**
> Microsoft 365予定表に連携するためには、製品がインストールされているサーバーから、**443ポート**を通じて**https://graph.microsoft.com、https://login.microsoftonline.com**へアクセス可能な環境が必要です。社内のご担当者、あるいはネットワーク業者へご確認ください。
> - **予定表のデフォルト値が選択されている場合**
> 予定表が公開(共有)になっていると、登録されたスケジュールも全て公開(共有)される為、ご注意ください。

スケジュール連携を設定する

1. システム設定の「運用管理」タブより「**スケジュール連携**」の「基本設定」を選択します。
   ⇒「スケジュール連携／基本設定」画面が表示されます。
2. 必要事項を設定し、最後に「保存」ボタンをクリックします。


スケジュール連携＊：
◉連携する
○連携しない
連携サービス＊：
Microsoft 365(Exchange Online)
個人ごとの設定変更許可：
◉許可する
○許可しない
連携サービスへの登録：
◉使用する
○使用しない
連携サービスからの取り込み：
◉使用する
○使用しない
取り込み間隔：
60 （分）
設定した間隔でスケジュールを取り込みます。
取り込み間隔を短くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。
取り込み期間：
3 （ケ月）
設定した期間でスケジュールを取り込みます。
取り込み期間を長くすると、スケジュール表示の動作が遅くなる場合があります。
スケジュールの公開（NI Collabo 360）：
◉公開する
○公開しない
○個人設定（初期値は公開する）
[NI Collabo 360に取り込まれたスケジュール]
公開する：
閲覧制限なしで取り込まれます。
公開しない：
本人のみが見られる状態で取り込まれます。
個人設定（初期値は公開する）：
設定を個人ごとにオプション設定で変更可能にします。
個人ごとの設定変更を許可しない場合は個人設定は選択できません。
[Sales Force Assistantライセンスのみご利用の社員]
常に非公開のスケジュールとして取り込まれます。
操作者本人のスケジュールのみ週・月スケジュール画面に表示されます。
共通認証情報
クライアントＩＤ：
xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
Microsoft Entraアプリケーションのクライアントを指定します。
例：xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
クライアントシークレット：
••
Microsoft Entraアプリケーションのクライアントシークレットの値を指定します。
ドメイン名：
xxxxx.onmicrosoft.com
Microsoft 365(Exchange Online)で利用するユーザーのドメイン名を指定します。
例：xxxxx.onmicrosoft.com
OAUTH 2.0 トークンエンドポイント：
https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token
OAUTH 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを、Microsoft Entra管理画面よりコピー&ペーストして指定します。
例：https://login.microsoftonline.com/xxxxx/oauth2/token

該当項目	項目名称	説明
	スケジュール連携	Microsoft 365予定表とのスケジュール連携機能を利用するかしないか選択します。
	連携サービス	連携するサービスを選択します。
D	個人ごとの連携設定の変更許可	社員ごとに連携設定を行うことを許可するかしないかを選択します。 **「許可する」場合** 「オプション設定」＞「スケジュール」メニューに「**スケジュール連携設定**」が追加されます。 ⇒詳細は、「オプション設定：スケジュール連携設定」を参照してください。 **「許可しない」場合** システム設定画面から、利用社員分の連携ユーザーID等を指定します。 ⇒詳細は、「システム設定：社員」を参照してください。
A	連携サービスへの登録	Sales Force Assistantシリーズのスケジュールを、Microsoft 365予定表に登録するかしないか選択します。
B	連携サービスからの取り込み	Microsoft 365予定表のスケジュールを、Sales Force Assistant シリーズ、NI Collabo 360に取り込むかどうか選択します。
B	取り込み間隔	Microsoft 365予定表からの取り込み間隔を選択します。（30、60、90、120、150、180、210、240分から選択） ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
B	取り込み期間	Microsoft 365予定表から取り込むスケジュールの期間を選択します。（1、3、6、12、24ヶ月から選択） ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。
C	スケジュールの公開（NICollabo 360）	Microsoft 365予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。 ※「連携サービスからの取り込み」に「使用する」を選択した場合の設定です。 ※Sales Force Assistantライセンスのみご利用の社員の場合、常に非公開となります。 **「公開する」場合** 閲覧制限なしで取り込まれます。

該当項目	項目名称	説明
		「公開しない」場合 本人のみ閲覧可能な状態で取り込まれます。 **「個人設定」の場合** オプション設定「スケジュール連携設定」に、「公開設定」が追加され、各社員が自由に選択することができます。 [NI Collabo 360 オプション設定画面] 
	共通認証情報	Microsoft 365スケジュール連携で、共通利用するAPIへの認証情報を指定します。 **クライアントID** Microsoft Entraアプリケーションの一意なIDです。 取得手順は、「認証情報の取得」を参照してください。 **クライアントシークレット** Microsoft Entra IDとの認証に使用する資格情報です。 取得手順は、「クライアントシークレットの作成」を参照してください。 **ドメイン名** Microsoft 365で利用するユーザーの@マーク以降を指定します。 NI製品各ユーザーの社員設定またはオプション設定で「NI製品の社員ログインIDを利用する」が選択されている場合、「社員ログインID@ドメイン名」をMicrosoft 365のユーザーIDとして、スケジュール連携します。 **OAUTH 2.0トークン エンドポイント** OAuth 2.0を使ってアクセストークンを取得するURLを指定します。 取得手順は、「認証情報の取得」を参照してください。

▶ システム設定：社員

システム設定メニューから、スケジュール連携の連携有無・連携設定を社員ごとに行います。

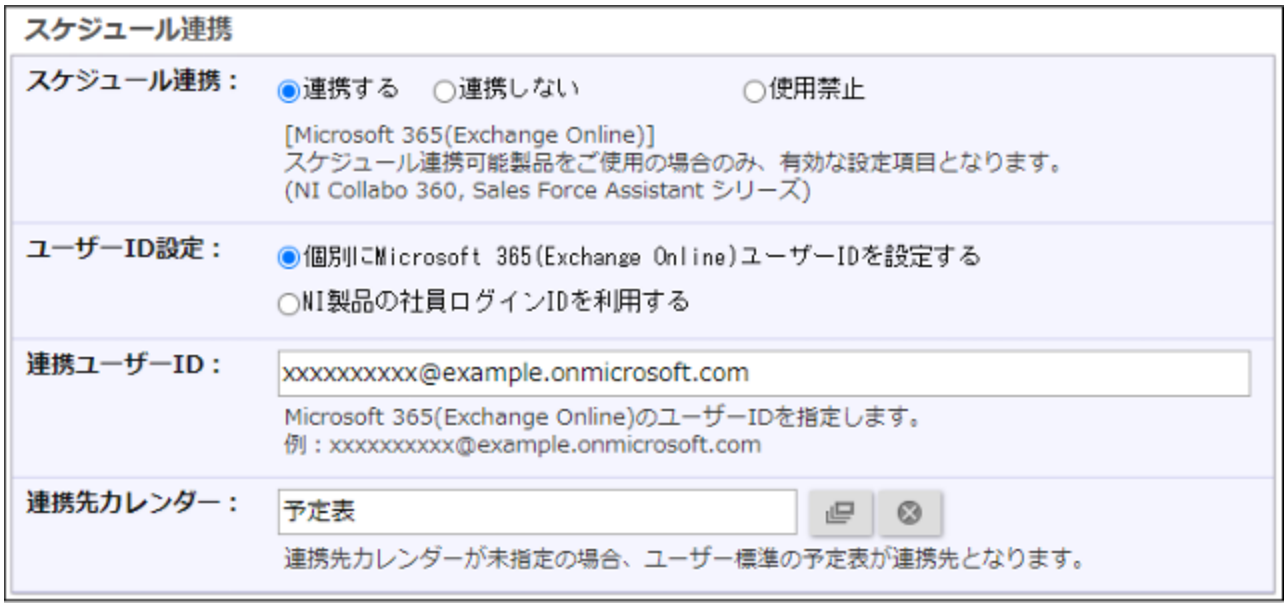
連携情報を登録する

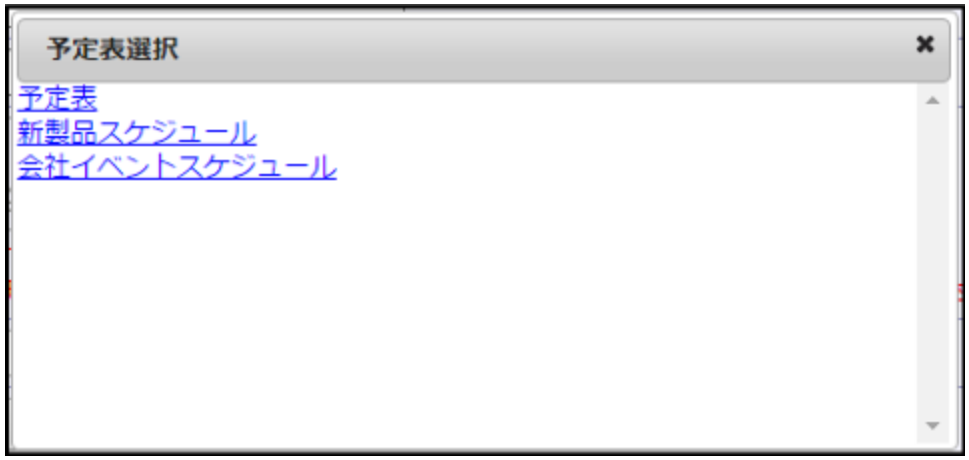
> ℹ 補足
>
> - **システム管理者が一括設定する場合、各社員の連携の有無、ユーザーID設定、連携ユーザーID/連携先カレンダーはこの画面より設定を行います。**

> ⚠ 注意
>
> - **連携開始時の連携情報について**
> 製品とMicrosoft 365予定表を連携させた場合、連携がONになった時点からの情報が、Microsoft 365へ送信されます。
> ※Sales Force Assistant シリーズの連携開始前の情報がMicrosoft 365側へ自動で送信されることはありません。連携設定以降に登録・更新を行った情報がMicrosoft 365側へ送信されます。
> 反対に、Microsoft 365予定表は前月月初からのスケジュールが製品へ送信されます。
> - **設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。**
> ⇒詳細は、「スケジュール連携における注意事項」を参照してください。

1. システム設定の「基本設定」タブより「**社員**」の「社員一覧」を選択します。
   ⇒「社員／社員一覧」画面が表示されます。
2. スケジュール連携する社員を選択します。
   ⇒編集画面が表示されます。
3. 「スケジュール連携」項目にて、必要事項を入力し最後に「保存」ボタンをクリックします。
4. 次に、正しく連携されているかどうかを確認します。
   「基本設定」より「スケジュール連携」の「ログ」を選択します。
   ⇒「スケジュール連携／ログ」画面が表示されます。
5. 一覧画面にエラーログが表示されていないかを確認します。
   エラーが表示されている場合は、その内容にしたがって設定をご確認ください。
   ※エラー内容の具体例については、「トラブルシューティング」を参照してください。

［システム設定＞社員情報画面］



項目名称	説明
スケジュール連携	スケジュール連携機能を利用する場合、以下の項目を設定してください。 ※この設定を有効にするためには、「運用管理」＞「スケジュール連携」＞「基本設定」のスケジュール連携項目の「連携する」を選択してください。 スケジュール連携：個人ごとの連携状態を指定します。 ※「使用禁止」について 個人ごとの連携設定の変更が許可されている場合、特定の社員のみ使用を禁止する設定です。この設定により、個人ごとの設定許可も禁止されるため使用不可となります。 ユーザーID設定：個別にMicrosoft 365ユーザーIDを設定するか、NI製品の社員ログインIDを利用するかを選択します。 ※「NI製品の社員ログインIDを利用する」を選択した場合、連携ユーザーIDの項目が非表示になり、「社員ログインID@ドメイン名」をMicrosoft 365のユーザーIDとしてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「システム設定」＞「運用管理」＞「スケジュール連携」＞「基本設定」より設定してください。 連携ユーザーID：Microsoft 365ユーザーIDを指定します。 ※NI製品の社員ログインIDを利用する場合は、入力不要です。 連携先カレンダー：連携したいMicrosoft 365予定表を選択します。 

▶ オプション設定：スケジュール連携設定

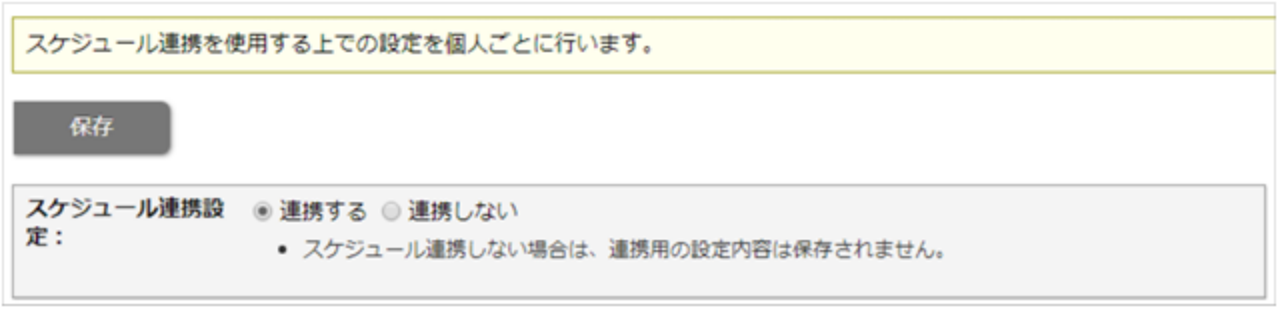
各社員が個別にスケジュール連携について設定を行います。

> 補足
>
> - **システム設定「スケジュール連携」の「個人ごとの設定変更許可」を「許可しない」場合、この画面は非表示となります。**

> ⚠ 注意
>
> - **連携開始時の連携情報について**
> 製品とMicrosoft 365予定表を連携させた場合、連携がONになった時点からの情報が、Microsoft 365へ送信されます。
> ※Sales Force Assistantシリーズの連携開始前の情報がMicrosoft 365側へ自動で送信されることはありません。連携設定以降に登録・更新を行った情報がMicrosoft 365側へ送信されます。
> 反対に、Microsoft 365予定表は前月月初からのスケジュールが製品へ送信されます。
> - **設定の際、以下の注意事項も併せて確認してください。**
> ⇒詳細は、「スケジュール連携における注意事項」を参照してください。

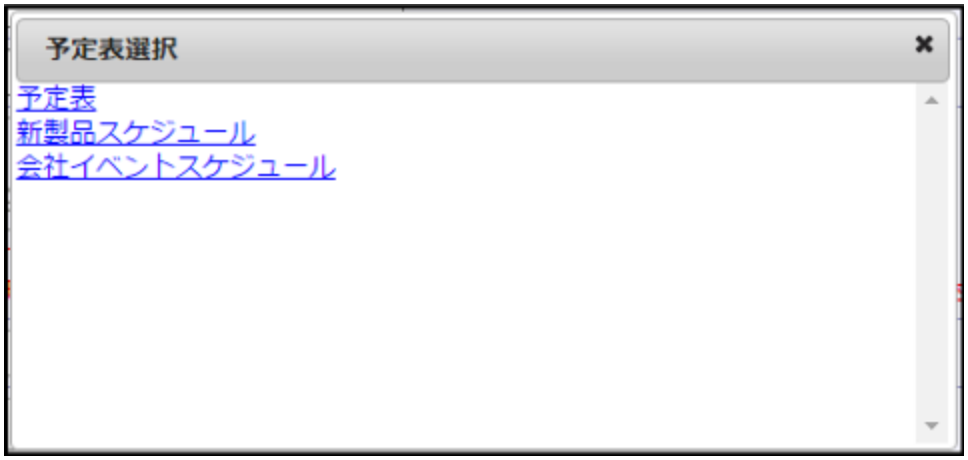
個人ごとに設定する（NI Collabo 360）

1. 画面下方の「オプション設定」をクリックします。
   ⇒オプション設定画面が開きます。
2. オプション設定メニューから「スケジュール」の「スケジュール連携設定」を選択します。
3. 「スケジュール連携設定」を「連携する」をチェックします。
   ⇒設定項目が下側へ追加されます。



4. 「ユーザーID設定」「連携ユーザーID」「連携先カレンダー」を入力し、「連携確認」ボタンをクリックします。
   ⇒エラーメッセージが表示された場合、「トラブルシューティング」を参照してください。
5. その他必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。


スケジュール連携設定：
連携する
連携しない
スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。
公開設定：
公開
非公開
「公開」を選択した場合、閲覧制限なしのスケジュールとして取り込みます。
「非公開」を選択した場合、取り込んだスケジュールは本人のみ閲覧可能な制限を自動設定します。
ユーザーID設定：
個別にMicrosoft 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する
NI製品の社員ログインIDを利用する
連携ユーザーID*：
xxxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com
Microsoft 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。
例：xxxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com
連携先カレンダー*：
予定表
選択
×
連携先カレンダーを変更した場合、前月始めからのスケジュール情報を同期します。
連携確認
「連携確認」ボタンを押すと、連携先のカレンダーが選択可能になります。

項目名称	説明
スケジュール連携設定	Microsoft 365予定表とスケジュール連携するかしないか選択します。 連携する場合、設定項目が下側に表示されます。
公開設定	Microsoft 365予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。
ユーザーID設定	個別にMicrosoft 365ユーザーIDを設定するか、NI製品の社員ログインIDを利用するかを選択します。 ※「NI製品の社員ログインIDを利用する」を選択した場合、連携ユーザーIDの項目が非表示になり、「社員ログインID@ドメイン名」をMicrosoft 365のユーザーIDとしてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「スケジュール」＞「スケジュール連携設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Microsoft 365ユーザーIDを指定します。 ※NI製品の社員ログインIDを利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したいMicrosoft 365予定表を選択します。 

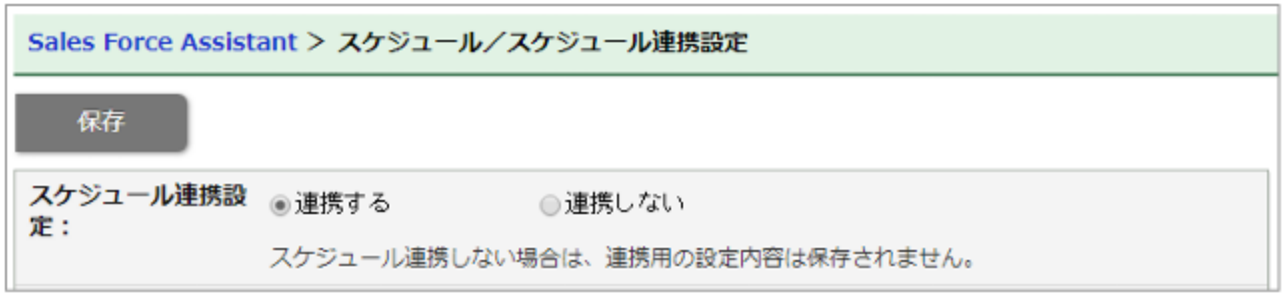
補足

- 以下の項目は Sales Force Assistantシリーズを導入し、製品を利用できる社員のみ利用できる項目です。
- **Sales Force Assistantシリーズ側で同様の設定ができます。**
  ⇒設定項目の詳細は、「個人ごとに設定する（Sales Force Assistantシリーズ）」を参照してください。



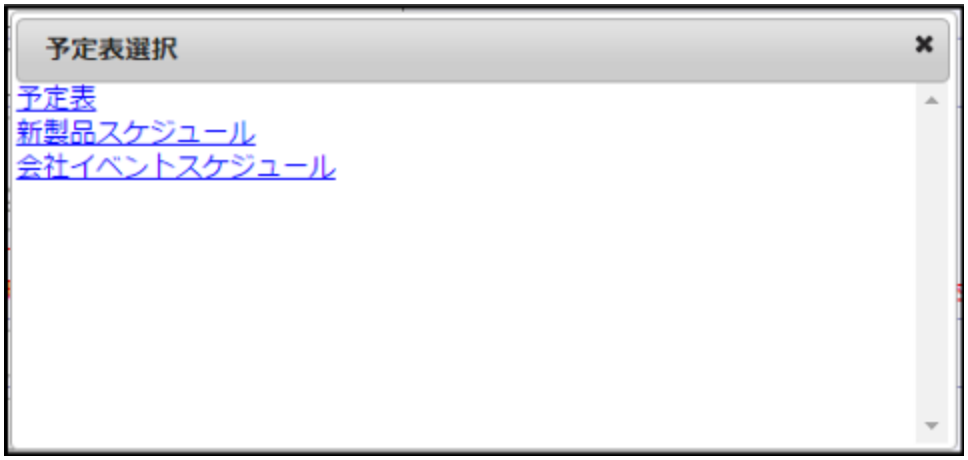
個人ごとに設定する（Sales Force Assistantシリーズ）

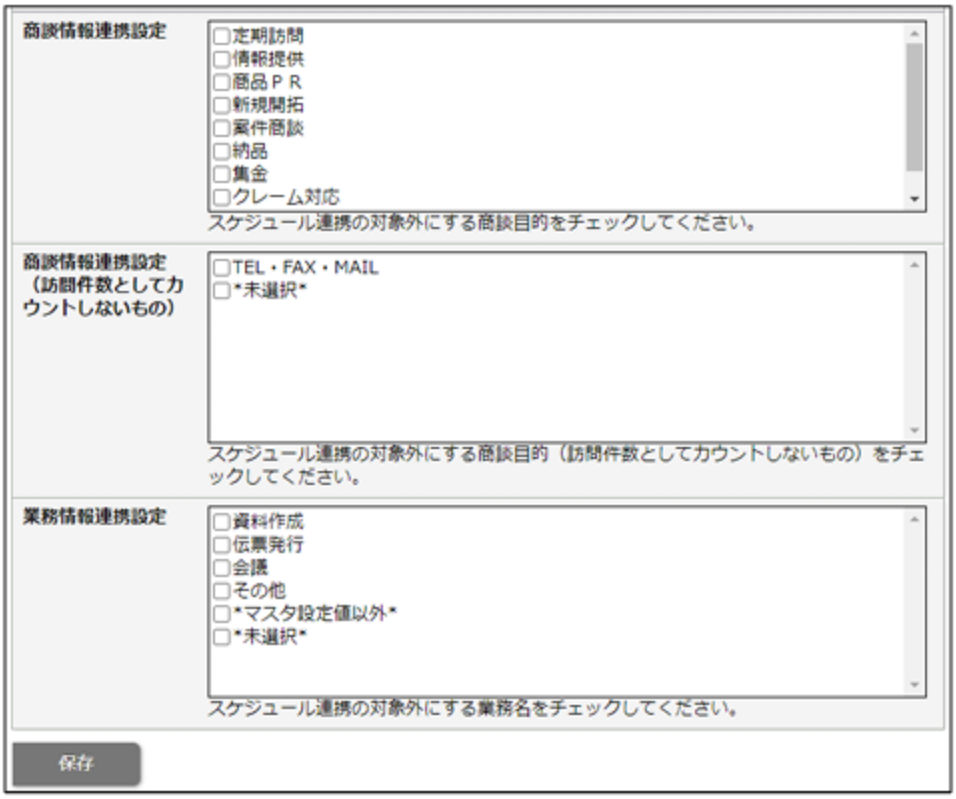
1. 左メニューより「オプション設定」を選択します。
   ⇒オプション設定画面が開きます。
2. オプション設定メニューから「スケジュール連携設定」を選択します。
3. 「スケジュール連携設定」の「連携する」をチェックします。
   ⇒設定項目が下側へ追加されます。



4. 「ユーザーID設定」「連携ユーザーID」「連携先カレンダー」を入力し、「連携確認」ボタンをクリックします。
   ⇒エラーメッセージが表示された場合、「トラブルシューティング」を参照してください。
5. その他必要事項を入力し、最後に「保存」ボタンをクリックします。


スケジュール連携設定：
連携する
連携しない
スケジュール連携しない場合は、連携用の設定内容は保存されません。
公開設定：
公開する
公開しない
「公開する」を選択した場合、閲覧制限なしのスケジュールとして取り込みます。
「公開しない」を選択した場合、取り込んだスケジュールは本人のみ閲覧可能な制限を自動設定します。
ユーザーID設定：
個別にMicrosoft 365(Exchange Online)ユーザーIDを設定する
NI製品の社員ログインIDを利用する
連携ユーザーID*：
xxxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com
Microsoft 365(Exchange Online)のユーザーIDを指定します。
例：xxxxxxxxxx@example.onmicrosoft.com
連携先カレンダー*：
予定表
選択
×
連携先カレンダーを変更した場合、前月始めからのスケジュール情報を同期します。
連携確認
「連携確認」ボタンを押すと、設定を保存し、連携先のカレンダーが利用可能か確認できます。

項目名称	説明
スケジュール連携設定	Microsoft 365予定表とスケジュール連携するかしないか選択します。 連携する場合、設定項目が下側に表示されます。
公開設定	Microsoft 365予定表から取り込まれたスケジュールを公開するかどうかを選択します。
ユーザーID設定	個別にMicrosoft 365ユーザーIDを設定するか、NI製品の社員ログインIDを利用するかを選択します。 ※「NI製品の社員ログインIDを利用する」を選択した場合、連携ユーザーIDの項目が非表示になり、「社員ログインID@ドメイン名」をMicrosoft 365のユーザーIDとしてスケジュール連携します。 ※ドメイン名は「スケジュール」＞「スケジュール連携設定」より設定してください。
連携ユーザーID	Microsoft 365ユーザーIDを指定します。 ※NI製品の社員ログインIDを利用する場合は、入力不要です。
連携先カレンダー	連携したいMicrosoft 365予定表を選択します。 



項目名称	説明
商談情報連携設定	連携**対象外**にする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント分)を選択します。
商談情報連携設定（訪問件数としてカウントしないもの）	連携**対象外**とする商談情報「商談目的」(訪問件数カウント外)を選択します。
業務情報連携設定	連携**対象外**とする業務情報「業務名」を選択します。

補足

- 「実績」の商談・業務はスケジュール連携の対象外です。
  なお、「予定」が「実績」となったスケジュールも連携対象外となります。

▶ スケジュール連携における注意事項

Microsoft 365予定表と連携する際の注意事項は、以下の通りです。

項目	説明
連携可能なMicrosoft製品	① Exchange Onlineの各プラン https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/exchange/compare-microsoft-exchange-online-plans ② Microsoft 365のプランのうち法人向けに設計された予定表が使用可能なプラン https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise/office365-plans-and-pricing ・Office 365 E1、E3、E5 以下は、Exchange Onlineが使用できないため未サポートとなります。 ・Microsoft 365 Apps for enterprise ただし、Microsoft社がエディション毎の提供機能範囲を変更する可能性があります。 詳細は上記URLからMicrosoft社の情報をご確認ください。
スケジュールの公開設定	Sales Force Assistantシリーズから連携されたスケジュールは、常に公開(非公開のチェックがOFFの状態)となります。 ただし、Microsoft 365予定表は個人用のため、予定表自体を組織内の他ユーザーと共有、または、組織外に一般公開していない限り、公開スケジュールは本人のみ閲覧可能となります。
終日イベントの設定	Sales Force Assistantシリーズから連携されたスケジュールを「終日」のイベントに変更しないでください。連携によるスケジュールの更新時に、「終日」が解除されます。
標準以外のカレンダーを選択する場合	Sales Force Assistantシリーズと連携する連携先カレンダーを変更する場合、変更した予定表の前月月初までの期間を同期します。 そのため、連携先カレンダーを変更した場合、スケジュールが重複する可能性があります。 重複したスケジュールは、Microsoft 365予定表にて削除してください。 ※連携先カレンダーの変更は、社員情報と個人オプション設定から可能です。 ※前月月初までの期間を同期する処理は、オプション設定でのみ実行されます。
カレンダー設定について	NI Collabo 360、Sales Force Assistantシリーズの連携先カレンダーに設定するMicrosoft 365予定表は社員毎に違う予定表を設定してください。 複数の社員が同じ予定表を設定すると、連携が正常に行われなくなります。
Microsoft 365予定表からの取り込みについて	連携社員の数が多く、取り込み期間が長い場合、スケジュールの反映までに時間がかかります。 Microsoft 365予定表のスケジュールがNI Collabo 360、Sales Force Assistantシリーズのスケジュールに反映されるまでの時間が長い場合は、システム設定の「取り込み期間」を短く設定してください。
プロキシサーバー経由の外部接続について	Microsoft 365予定表との通信を行う際、認証の必要なプロキシサーバー経由の通信には対応しておりません。 Microsoft 365予定表との連携を行うためには、NI製品のWEBサーバーからMicrosoft 365への通信が必要となります。

項目	説明
	プロキシサーバーを経由しないと外部への通信が行えない場合、認証の不要なプロキシサーバーであれば、システム設定＞運用管理＞アップデート＞プロキシに、アドレスとポート番号を指定する事で通信が可能となります。 しかし、プロキシサーバーに認証（ユーザー名とパスワード）が必要な場合は、非対応となりますので、プロキシサーバーを経由しない通信、又は、認証の不要なプロキシサーバーの環境をご用意ください。

トラブルシューティング

▶ スケジュールが選択できない

オプション設定のカレンダー選択でエラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NIコンサルティングサポートデスクまでお問い合わせください。
エラーメッセージの具体例については、「スケジュール連携設定を行ったが連携されない」を参照してください。

▶ スケジュール連携設定を行ったが連携されない

スケジュール連携ログより、エラーログが記録されていないかご確認ください。エラーが表示されている場合、その内容にしたがって設定をご確認ください。エラーの内容が不明で連携できない場合、NIコンサルティングサポートデスクまでお問い合わせください。

- 設定箇所
  システム設定の「運用管理」タブより「**スケジュール連携**」の「ログ」

Microsoft 365予定表連携時のエラーログ具体例	説明
予定表取得処理でエラーが発生しました。 (500:ErrorInternalServerError) The SMTP address has no mailbox associated with it.	ユーザーIDが誤っている可能性があります。 社員情報、または、個人オプション設定からスケジュール連携設定を再設定してください。
認証処理でエラーが発生しました。 (400:unauthorized_client) AADSTS700016:Application with identifier xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx was not found in the directory xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報でMicrosoft Entra IDへの認証に失敗している状態です。 クライアントIDが誤っている可能性があります。
認証処理でエラーが発生しました。 (400:invalid_request) AADSTS90002: Tenant ‘ xxxxxxxxxxxxxxx’ not found. This may happen if there are no active subscriptions for the tenant. Check with your subscription administrator.Trace ID: xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報でMicrosoft Entra IDへの認証に失敗している状態です。 OAUTH 2.0 トークン エンドポイントが誤っている可能性があります。
認証処理でエラーが発生しました。 (400:invalid_request) AADSTS901002: The ‘resource’ request parameter is not supported.Trace ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報でMicrosoft Entra IDへの認証に失敗している状態です。 OAUTH 2.0 トークン エンドポイントには、Microsoft EntraIDの「OAuth 2.0 トークン エンドポイント (**v1**)」を設定してください。
認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS700027: Invalid JWT token. No certificate thumbprint nor keyId specified in token header. Trace ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	登録された情報でMicrosoft Entra IDへの認証に失敗している状態です。 拇印が誤っている可能性があります。
認証処理でエラーが発生しました。 (401:invalid_client) AADSTS7000222: The provided client secret keys for app ‘xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx’ are expired. Visit the Azure portal to create new keys for your app: https://aka.ms/NewClientSecret, or consider using	登録された情報でMicrosoft Entra IDへの認証に失敗している状態です。 クライアントシークレットの有効期限が切れています。 「クライアントシークレットの作成」の手順で新しいクライアントシークレットを作成し、作成したクライアントシーク

Microsoft 365予定表連携時のエラーログ具体例	説明
certificate credentials for added security: https://aka.ms/certCreds. Trace ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Correlation ID:xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx Timestamp: 2015-01-01 00:00:00Z	レットの値を「スケジュール連携を設定する」へ設定してください。

▶ 連携先サービスを変更する、または連携をやめる場合の注意点

- 未送信の情報が残っている場合、連携エラーとなります。
  全社員のスケジュール連携を、各社員のオプション設定、または、システム設定＞基本設定＞社員情報から「連携しない」に変更してください。（社員情報はCSVでの一括更新でも可能です。）
- 変更後、1時間程度時間を開けて、NI Collabo 360のスケジュール画面（月表示等）、またはSales Force Assistantのポータルを開いてください。
- 上記作業後にシステム設定＞運用管理＞スケジュール連携／基本設定にて、サービスを変更する、または、スケジュール連携を「連携しない」に変更してください。
- 既に連携してあるスケジュールは削除されません、不要な場合は手動で削除してください。